

# 留 学 報 告 書

記入日:2015年8月3日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科
留学先国	中国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 上海交通大学 現地言語: 上海交通大学
留学期間	2014年9月～2015年7月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	安泰経済与管理学院
帰国年月日	2015年7月4日
明治大学卒業予定年	2016年3月



留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9 月中旬～1 月上旬 2 学期:3 月下旬～7 月上旬
学生数	約 18000 人
創立年	1896 年

留学費用項目	現地通貨 (元)	円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	6,600/学期	132,000/学期円	留学生寮二人部屋
食費	1,200/月	24,000/月円	
図書費	700/年	14,000/年円	教科書等
学用品費		円	
教養娯楽費	20/月	400/月円	交流イベント参加費等
被服費	200/年	4,000/年円	
医療費	0	0 円	
保険費	6232	124,650 円	形態:大学指定保険
渡航旅費	4,000/往復	80,000/往復円	
雑費		円	
その他	460/月	9,200/月円	交通費、娯楽費、交際費等
合計	41,132	822,650 円	

### 渡航関連

渡航経路:成田空港—上海・浦东空港

渡航費用

チケットの種類	デルタ航空
往路	3 万 5 千円
復路	4 万 5 千円
合計	8 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

デルタ航空、ANA、地球の歩き方上海版

### 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

大学の宿舍(桃李苑)

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2 人)

3)住居を探した方法:

留学先ホームページにて

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

2014 年夏にできたばかりの新しい留学生寮なので、外観も部屋も非常にきれいです。他大学と比べると寮費が少し高いとは思いますが、その分設備も充実しているので、とても過ごしやすかったです。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

- 利用する機会が無かった  
 利用した: 保険適用医療機関

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生事務室もしくは所属学部事務室

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

基本的にはインターネットで情報を収集。悪質チケット予約サイトに詐欺にあった経験があります。交通チケットや宿泊施設を予約する際には、できるだけ大きな公式サイトを利用することをおすすめします。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

部屋に Wi-Fi 環境は無いので、自分で無線 LAN ルーターを購入する必要があります。キャンパス内ではほとんどの場所で学校の共通 Wi-Fi が利用できます。また、街にある飲食店や公共施設では基本的に Wi-Fi 環境は整っています。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

デビットカードやクレジットカードを利用。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本のレトルト食品やインスタント食品、お菓子は現地だと高額になるので、日本から持っていくことをおすすめします。その他日用品はほとんど現地で手に入れることができます。

## 進路について

1) 進路

- 就職     進学     未定     その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

就活四季報、マイナビ、リクナビ、リクルートキャリア

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

未定

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

留学先で行われる就活イベントや明治大学の OB 会があれば、積極的に参加してください。また、インターンシップなどの経験することも非常に重要です。日本にいる学生と比べると出遅れている感を持つかもしれませんが、自己分析や企業研究、エントリーシートの提出をしっかりと現地でもできれば、帰国後そこまで差を感じずに就活できると思います。かといって、留学生活そのものを疎かにしてしまうと意味が無いので、上手くバランスが取れるように生活することを心がけてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
19 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
管理基礎		管理基礎
科目設置学部・研究科	安泰経済与管理学院	
履修期間	前期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式	
授業時間数	1週間に100分が17回	
担当教授	韩丽川	
授業内容	中国語で行われるマネジメントの基礎を学ぶ授業です。	
試験・課題など	3回程の課題、期末試験(持ち込み不可)があります。	
感想を自由記入	基礎的な内容が主だったので、ある程度の語学力を有していれば比較的わかりやすいと思います。教授の中国語は結構早口ですが聞き取りやすく、冗談をよく言うので退屈しません。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
运营管理		オペレーションマネジメント
科目設置学部・研究科	安泰経済与管理学院	
履修期間	前期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式	
授業時間数	1週間に165分が17回	
担当教授	汪蓉	
授業内容	モノやサービスといった「価値」を顧客に提供するため、調達・加工・輸送・販売などを行うプロセス一般のマネジメントに関する授業。	
試験・課題など	グループワーク、個人課題、期末試験(持ち込み可)	
感想を自由記入	講義は中国語ですが資料は全て英語になっているため、ある程度の英語力がないと難しく感じます。また、グループワークが頻繁に行われるため、予習復習などの準備が必要です。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
国际贸易理论与政策	国際貿易理論と政策
科目設置学部・研究科	安泰経済与管理学院
履修期間	前期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に165分が17回
担当教授	钟根元
授業内容	貿易に関する基本知識を学ぶ授業。
試験・課題など	毎回授業終わりに当日学んだ知識を用いた問題を解く時間があります。 中間試験(持ち込み可)、期末試験(持ち込み不可)。
感想を自由記入	中国語で行われます。計算を用いることが多いですが、教授が一つ一つ熱心に解説してくれるため、とてもわかりやすかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
物流与供应链管理	物流とサプライチェーンマネジメント
科目設置学部・研究科	安泰経済与管理学院
履修期間	後期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に165分が17回
担当教授	邵晓峰
授業内容	物流、サプライチェーンマネジメントなどの概念を明確にし、メーカーを中心に物流の問題について分析し、理解していく授業。
試験・課題など	グループ課題2回、期末試験(持ち込み可)
感想を自由記入	中国語で行われます。実例を用いたり、ゲーム形式で実践的にサプライチェーンの仕組みを学ぶ機会がある面白い授業です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
国际贸易实务	国際貿易実務
科目設置学部・研究科	安泰経済与管理学院
履修期間	後期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に165分が17回
担当教授	许源
授業内容	国際取引や国際ビジネス、商慣習の専門的知識を学ぶ授業。
試験・課題など	個人課題が3回程、期末試験(持ち込み不可)。出席や発言も評価される。
感想を自由記入	中国語で行われます。個人的に貿易の知識に関して興味を持っていたので、退屈することなく受講することができました。何回か課題は出されますが、自身の考えをはっきり答えることができれば、多少間違えても高得点はもらえます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
国際金融		国際金融論	
科目設置学部・研究科	安泰経済与管理学院		
履修期間	後期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に100分が17回		
担当教授	沈思玮		
授業内容	外国為替市場や為替相場決定、国際金融市場の知識と理論についてを学ぶ授業。		
試験・課題など	出席、数回のグループワーク、期末試験(持ち込み可)で評価される。		
感想を自由記入	中国語で行われます。金融に関する基礎知識がないと非常に難しく感じます。また使われる単語や公式も難しいものが多いので、予習復習をしっかりやらないと厳しいです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
金融学		金融論	
科目設置学部・研究科	安泰経済与管理学院		
履修期間	後期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に165分が17回		
担当教授	沈思玮		
授業内容	金融の基礎的知識や政策などについて学ぶ授業。		
試験・課題など	出席、数回のグループワーク、中間試験(持ち込み不可)、期末試験(持ち込み不可)で評価。		
感想を自由記入	基礎知識を学ぶ授業とはいえ、習ったことが無いような難しい公式を使う場面が度々あったので、非常に難しく感じました。		

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	留学に興味を持つ。
4月～7月	交換留学の存在を知る。
8月～9月	HSK5級の取得に向け勉強を開始。
10月～12月	HSK5級を取得。目標とする留学先を決定。
2014年 1月～3月	スピーキングの勉強に力を入れる。
4月～7月	より難易度の高い中国語の授業を履修。
8月～9月	留学開始。テストや面接を経て語学クラスを決定。
10月～12月	国慶節期間中に安徽省の黄山へ旅行。 就活イベント「上海キャリアフォーラム」に参加。
2015年 1月～3月	春節前に雲南省→ラオス→ベトナムという順に長期旅行。 現地の日系企業でインターンを開始。 就活イベント「上海逆求人」に参加。 前期期末試験。
4月～7月	後期期末試験。 数多くの企業にエントリーシートを提出。 留学終了。
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	私は台湾と日本のハーフですが、以前からかわれていた経験からハーフであることが嫌で、中国語を話そうとも思いませんでした。そのため何度も母親に八つ当たりしたことがあります。しかし母を亡くした際、何も親孝行できなかったことに気付かされました。このことがきっかけで、中国語を上達させて台湾の家族と連絡を取り合い、良い関係を築くことが今自分にできるせめてもの親孝行なのではないかと考えるようになり、留学を決断しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	本科の授業は扱う単語も専門的なものが多く、教授が話す中国語も語学の授業と比べると速いので、より高いリスニング力や語彙力が必要だと見越していました。そこで私は留学前に自身の語学力を向上させるために、二つの行動を取りました。一つは「留学経験者を対象とした授業の履修」です。単位は認められませんが、あえて難易度の高い授業に挑み、レベルアップを図りました。二つ目は「マンツーマン中国語教室」です。ゼミの教授に中国語講師である友人を紹介してもらい、週に二回の個別レッスンをセッティングしてもらうことで、事前にリスニング力とスピーキング力を身につけました。
この留学先を選んだ理由	世界的に知名度が高く、国内でもランキング上位に入る大学であるということ。そして希望していた安泰経済与管理学院では、商学部と関連した授業が数多くあったことから、上海交通大学を選びました。北京大学やその他の大学を選ぶこともできたのですが、実際に大気汚染などの環境の問題(今年上海は北京のように空気が非常に汚くなることはありませんでした)、そして交通などの立地の問題を考えると、上海交通大学は最適だったのではないかなと思っています。
大学・学生の雰囲気	留学生寮が都心にあるキャンパスの敷地内にあったので、交通に困ることはありませんでした。大学院生や語学を学ぶ学生メインのキャンパスだったので外国人を見ない日はなく、とにかく国際色が豊かでした。校内はとても広く、出入りが自由なので、週末は家族連れが良くピクニックを行っている光景も見られ、賑やかな雰囲気を感しました。中国の学生と言えば大学に引きこもって勉強ばかりしているというイメージが強かったのですが、実際はそういうこともなく、勉強と遊びのメリハリをしっかりとつけている学生が多かったです。また国籍関係なくフレンドリーに接してくれる方が多く、非常に過ごしやすかったです。
寮の雰囲気	ちょうど留学を開始した際に新しくできた寮で、ホテル同様とても綺麗な寮でした。また、様々な国から来た留学生が住む留学生専用寮でしたので、普段から異国の学生とコミュニケーションを取るチャンスが多かったです。一階にはカフェがあり、そこでは頻繁に留学生の交流会や季節に応じたイベントが開催されていたので、友達を作る機会はたくさんありました。
交友関係	寮の都合上、前期の5ヶ月は日本人のルームメイトと過ごしていました。しかし、せっかくの留学で日本人と生活するのはもったいないと考えて事務室に相談し、後期からは中国人の学生と共に暮らすことができました。新しくできたルームメイトとは実際に毎晩一緒に夕食を食べに行ったり、故郷である南京を案内してくれたり、毎日楽しい時間を共に過ごすことができました。ルームメイトに限らず、現地の学生は皆親日の方が多かったので、交友関係に困ることはなかったです。
困ったこと、大変だったこと	詐欺アプリにひっかかってしまったこと。国内列車のチケットを格安で購入できるということで、安徽省の黄山行きのチケットをスマホのアプリで購入しました。しかし、出発当日に駅員に決済画面を提示したところ情報が登録されていないと言われ、不正アプリだったということが発覚し、余分にお金を払わなければならないということがありました。上記の経験があつてからは、チケットを購入するにしてもホテルを予約するにしても、ある程度有名で大きな公式サイトを利用することを心がけるようになりました。
学習内容・勉強について	留学当初中国人の友人が少なかった私は、日本に興味を持つ中国人となら比較的簡単に友人になれるのではないかと考え、日本語専攻の授業に参加することを計画しました。実際に教授の許可を得ることができ、学生のアドバイス役を任されたり、発表の機会をもらったり、学生と多く接することができました。そして何回か授業に参加することで日本語と中国語を相互に教え合える友人を作ることができ、結果的に自身の語学力を伸ばすことに成功しました。留学中は上記の経験のように積極的に動くことを心がけていました。

課題・試験について	課題は日本の大学に比べると非常に多いです。特に苦労したのがレポート課題です。レポートを執筆する際のルールで日本と違う点(参考文献にインターネットや書物の情報を利用してはいけない等)が多数あり、何度も書き直しをしました。また、どの授業にも共通してグループワークがあり、与えられた仕事に対して責任を持たなければなりません。なので、その分予習復習などの準備をしっかりとやらなければならず、毎日勉強で追われていたという印象があります。
大学外の活動について	毎週日曜日は現地の駐在員で構成されるテニスサークルに通っていました。テニスの練習はもちろん、就職活動の相談や駐在員ならではのお話をして頂くこともあったので、就職活動の準備のためにも積極的に通うようにしていました。また、後期からは現地の日系企業でインターンをしました。翻訳作業やイベントの同行が主な業務内容でしたが、就職をする前から実際に海外で働く楽しさや難しさを身を以て知ることができ、貴重な経験ができたと思っています。
留学を志す人へ	交換留学とはいえ、おそらくほとんどの学生は語学の勉強を主な目的として留学しようとしていると思います。しかし、はっきり言ってそれでは大きな成長は見込めません。これは語学留学ではなく、あくまで交換留学です。自分の専門である学部・専攻に所属し、本科生と共に専門の授業を受けることは必須となります。専門の授業は語学の授業と比べ物にならないくらい難しく、グループワークも多いです。高校や大学で少し勉強したくらいの中国語力では全く理解できません。将来は中国語を使って仕事がしたい、中国人とより深い関係を築けるようになりたいなどと考えているなら、少なくとも専門の授業を聞き取れる語学力が必要です。そのためにも HSK のような読み書き中心の勉強以外にも中国人の友達を作るなどして、リスニング能力、スピーキング能力を事前に上げていってください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	語学授業	授業	睡眠	授業	睡眠	睡眠
	授業	語学授業	授業	インターン	授業	中国人と交流	睡眠
午後	インターン	授業	語学授業	インターン	授業	中国人と交流	駐在員の方々とテニス
	インターン	授業	語学授業	インターン	授業	中国人と交流	駐在員の方々とテニス
夕刻	インターン	授業	自由時間	インターン	授業	中国人と交流	食事
夜	予習・復習	予習・復習	予習・復習	予習・復習	自由時間	中国人と交流	自由時間